

## 獅子舞 第45回神岡飛騨獅子まつり 獅子舞4社が勇壮に舞を披露

10月16日(日) 神岡町

第45回神岡飛騨獅子まつりが神岡町の本町防災公園周辺で開かれ、飛騨地域の獅子舞のほか、地元の保育園や中学校、高校などのステージイベント、特産品などのバザーも行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。

この日は、神岡町の大津神社、下山田若連中、河合町の小雀獅子保存会、高山市一之宮町の水無神社の4社が獅子舞を披露し、来場者は各社中の獅子舞の違いを楽しみました。

バザーでは、神岡名物のとんちゃんをはじめとする飛騨市の特産品に加え、富山市からの海産物やラーメンなどの出店もありました。



金蔵獅子を披露する下山田若連中の皆さん

## 飛騨 安峰山北展望台完成式典 飛騨の山々を一望

10月10日(月・祝) 安峰山(古川町)

安峰山林道管理組合は、古川町の安峰山で北展望台の完成式典を行いました。

この展望台は、地元住民で組織する同組合が8月下旬から山頂の北側の立木の伐採や遊歩道、展望台の造成工事を地元の人たちや協力者により手づくりで完成させました。

式典で、都竹市長は「新しい観光名所ができたことは嬉しい。多くの市民や観光客に訪れてほしい」とあいさつし、倉家正樹組合長は「待望の展望台が完成した。末永く安全に利用してほしい」とあいさつしました。



あいさつする都竹市長

## 紅葉の天生で安全確認 天生県立自然公園で秋の合同パトロール

10月18日(火) 天生県立自然公園

紅葉が見ごろを迎えた天生県立自然公園で、入山者への自然保護啓発を行う秋の合同パトロールが行われました。

市と白川村、飛騨森林管理署などで行う同自然公園協議会、県、県警などによる合同パトロールで、園内動植物等の摘み取りや登山道の踏み荒らしなどを未然防止するために毎年開催しています。

この日は、各機関の関係者12人が参加し、天生峠から入山。初穂(もみぬか)山を通る班と木平湿原を通る班の2つに分かれてパトロールをし、訪れた観光客へ呼びかけをしました。



公園内をパトロールする関係者

## 歌舞伎 所作や化粧などを学ぶ 歌舞伎教室で役者になりきる

10月14日(金) 河合小学校

河合小学校で伝統文化を学ぶ「歌舞伎教室」が開かれ、河合町歌舞伎保存会のメンバーと美濃歌舞伎博物館相生座館長の小栗幸江さんを教師に招き、同小6年生8人が歌舞伎の所作やセリフ回しなどを学びました。

地歌舞伎が盛んな河合町では、ふるさとの伝統文化を継承するため、学習発表会で6年生が歌舞伎を演じています

教室では、化粧の講習も行われ、児童は鏡を見ながら自分達の手で顔におしろいを塗り、目や鼻のまわりに赤や青の隈取りを入れました。



隈取りをする児童



## 自然の魅力をより身近に

10月29日（土） 神岡町公民館

東京大学宇宙線研究所と宇宙まるごと創生塾飛騨アカデミーと市は神岡町公民館で、「あなたの知らないことばかり南極と重力波」と題した講演を行いました。

講演会では東京大学宇宙線研究所の大橋正健教授による「地球からブラックホールを測る」と題した講演と国立極地研究所の早河秀章先生による「南極から地球を測る」と題した講演が行われ、参加者は南極や重力波について学びました。

また、南極の氷争奪大じゃんけん大会も行われ、会場は盛り上がりました。



ブラックホールについて講演する大橋先生

## 新 そばの香りを堪能

10月22日（土）・23日（日） まつり広場周辺

市内の手打ちそば店やそば打ち愛好家グループが一堂に出店した「第11回飛騨新そば祭り」が10月22日から2日間、古川町のまつり広場周辺で開かれました。

市そば振興組合などでつくる実行委員会が、飛騨そば特産化を目指そうと毎年開催されています。

この日は、市内にあるそば店と宮川町の万波そばの会、古川町の朝霧そばなど計7団体が参加。市内で栽培されたそばの実を使用し、全て手打ちで提供されました。ざるそばやなめこそばなど、そばの種類も豊富で、訪れた来場者は、新そばの美味しさに舌鼓を打ちました。



新そばを味わう観光客

## 農業まつり農林水産物の収穫に感謝

10月30日（日） 若宮駐車場

市の食や農を味わう第13回飛騨市農業まつりが10月30日に市営若宮駐車場で開かれ、約8,000人の来場者でにぎわいました。

今年は九州震災復興支援の取り組みとして、恒例のやんちゃ鍋にすいとんを加えた「だご汁風やんちゃ鍋」が提供されたほか、新鮮野菜、りんご、野草茶などの市の特産品が並ぶバザーが行われました。また、飛騨市こだわり食堂としてエゴマのおはぎや飛騨牛串、鮎・岩魚の塩焼きなどの販売も行われました。

また、もちつき体験やレールマウンテンバイクの乗車体験なども行われ、人気を集めていました。



だご汁風やんちゃ鍋とにぎわう会場

## 木 ヒダクマ秋まつり 工体験などで森に親しみを

10月22日（土）、23日（日） FabCafe hida

（株）飛騨の森でクマは踊る（ヒダクマ）は古川町内で秋祭りを行いました。秋祭りでは、森歩きやトークショー、広葉樹を使ったものづくり体験、森の恵みを生かした料理などが提供され、参加者は木を使ったライフスタイルを考え、楽しみました。

22日には、FabCafe hida でトークショーとして、ピオフォルム環境デザイン室代表の山田貴宏さんが「自然と寄り添う暮らしのかたち」と題した講演を行いました。

また、この日は秋のトマトときのことクロモジのカレーの販売も行われ、来場者は森について考えるとともに、森の恵みを味わいました。



山田さんのトークショーの様子